

ストーリー

一人で暮らす**老人(柄本明)**の家に、**男(藤原竜也)**がやってくる。老人は戸惑うが、その男は老人を家に連れて帰り、二人の奇妙な同居生活が始まる。

男はベンチャー企業の経営者であり、**部下(高杉真宙)**が彼を支えている。部下は男の家を訪れ、見知らぬ老人がいるのに驚く。

男は「家政夫だ」と老人を紹介する。部下は男に対して盲目的な憧れと畏れがあり、素直に信用する。

ある日部下は、男の別居中の**妻(佐久間由衣)**を連れてくる。妻は男と離婚をしたがっており、その話し合いのためだ。

家政夫の老人に対して怪訝な目を向ける妻に、老人は不敵な笑みを浮かべる。

その老人は、男と長らく絶縁状態にあった男の父親だった――

妻と部下の関係を疑い、壊れていく男。その様子に心が離れていく妻と部下。

男と妻子の間には何があったのか。そして男の父親しか知らない、男の過去の真実とは何か。

父と息子が家族をやり直そうとする物語。

あるいは、家族を終わらせようとする物語。